

# 保坂のぶと

ほさか

世田谷モデル  
第2ステージへ！

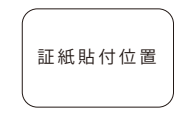


「せたがやYES!」には、私たちの住んでいる世田谷区をもっとよくしようという思いをこめています。競争と不信が渦巻く中、地域にホッとできるコミュニティがあることで、人生はもっと豊かになると 생각합니다。住民のための、住民による自治体運営を育てるために、あなたの力が必要です。

「参加と協働」で織りなされるまちづくりは、住民、事業者、NPOなどの民間団体と行政が互いに手を結び、知恵を出しあって、ともに動くことで生まれます。もうひとつ。東日本大震災と原発事故を受けて、政治の屋台骨も揺らいでいます。「平和を守り、戦争をしない」という70年続いた平和国家に新たな生命を吹き込むためにも、私は次の世代とともに希望の灯をともします。

保坂のぶと

**保坂のぶと選挙事務所**  
〒154-0017 世田谷区世田谷4-12-12 ネイグル世田谷1F  
Tel : 03-5426-0371 Fax : 03-5426-0462  
メール: info@hosaka.gr.jp / ホームページ: www.hosaka.gr.jp



カンパ歓迎  
ボランティア募集中!

**保坂のぶとプロフィール** ●1955年11月26日、宮城県仙台市生まれ。●父の転勤により5歳で東京、桜上水にあった真愛幼稚園に通う。●中学校卒業時の「内申書」をめぐり、16年にわたる内申書裁判の原告となり、教育問題を中心に取材するジャーナリストに。●80年代半ばから、ミスターボランティアこと故・牟田悌三さん(09年没)とともに「いじめ」問題に取り組む。●96年11月、衆議院議員初当選。09年までの3期11年で546回の国会質問に立ち、「国会の質問王」との異名をとる。●2011年4月の世田谷区長選挙で初当選。車座集会他、区民参加の意見交換の場を次々と持つ。今後20年の「世田谷区基本構想」をまとめる。●世田谷区長としての取り組みをまとめた、「88万人のコミュニティデザイン」(2014年・ほんの木)、「闘う区長」(2012年・集英社新書)ほか、著書多数。

●顔布責任者:森原秀樹 世田谷区松原6-26-15-201 ●印刷者:(株)プロセス 港区西新橋1-18-14第2須賀ビル2F

## 人にやさしい行政改革を世田谷モデルで実現

保坂のぶとがあなたと一緒に、人にやさしい改革を徹底的にすすめます。子育てや福祉、多様性の尊重、格差是正、被災地支援の新たなモデルづくりを進めて、世田谷から日本を再生する先頭に立ちます。

### 子育て・教育予算を倍増 「子どもが生まれて元気に育つまち」へ

- 実績** 子ども・教育関連予算を10年前の倍に増額(約350億円→711億円)。保育定員を3,490人増。
- 区内の保育定員を2万人に。待機児童解消に全力をあげます。妊娠から就学まで、ひとつながりの子ども支援制度(世田谷版ネウボラ)を構築します。
- 教育費をさらに充実させ、学習環境を改善します。障がいのある子どもも共に学べる教育を進めます。学校現場や教員を支援する先進的な新教育センターをつくります。
- 元気な中・高校生の活動拠点、生きづらさを抱えた若者の支援と居場所づくりを進めます。

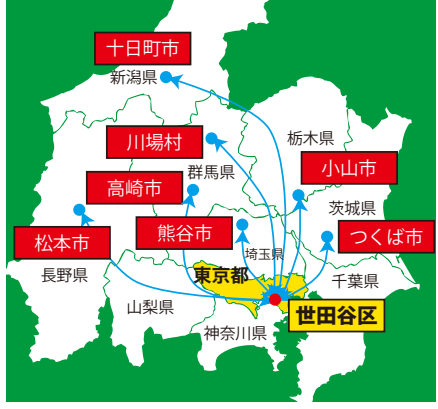
### 誰もが最期まで安心して暮らせる 「地域まるごとケアの世田谷モデル」へ

- 実績** 区内27ヶ所での「身近な福祉の相談の窓口」づくりをスタート。都立梅ヶ丘病院跡地への保健・医療・福祉の総合拠点づくりを推進。
- 特別養護老人ホーム、小規模特養、グループホームを拡げて高齢福祉を充実し、障害者差別解消法のもと、これまで以上に障害福祉の網の目を細かくします。
- 認知症の方々やそのご家族への支援のために認知症在宅生活支援センターをつくります。
- 当事者や介護・福祉の現場とともに、区民の視点で制度設計や運営を進めます。

### 防災塾で住民の手による防災計画を 人にやさしい都市基盤をつくります

- 実績** 「災害対策総点検」を実施。全27地区で区民参加の「防災塾」を開催し、地区防災計画をめざし継続中。新たに6市と「災害時相互応援協定」を締結。
- 防火水槽の設置とともに、「木造住宅密集地域」の不燃化を進めます。
- 生活道路の整備を進め、道路ネットワークをつくります。自転車の走行環境やバス路線の充実にも力を入れます。

災害時相互応援協定を締結した自治体



### エネルギー革命を世田谷から! 仕事おこしを応援

- 実績** 「世田谷区みうら太陽光発電所」を整備(年間約800万円の収益を活用)。公園・緑地を18ヶ所増(約7.1ヘクタール)。三軒茶屋就労支援センター(三茶おしごとカフェ)を開設。
- 原発は再稼働せずに廃炉に。エネルギー転換を進めます。消費者が自然エネルギーを優先的に選べる仕組みを設計します。
- みどり豊かな環境を次世代に。公園・緑地の整備の規模とスピードを加速します。大型開発を優先せず、公共性・公益性や環境を重視したまちづくりを進めます。
- NPOの資金調達支援策を創設。職住接近のソーシャルビジネスや若者・女性の仕事おこしを応援します。

### 文化・芸術を世界に発信 産業振興を進めます

- 実績** 区内産業振興のための公契約条例を制定。世田谷まちなか観光協議会を設立。
- 文化・芸術の発信を世田谷から。美術や文学、演劇から、音楽・映像文化まで幅広く発信します。
- 2020年東京五輪・馬術競技の馬事公苑開催を機に、スポーツ振興策を強化します。
- 「歩いて楽しいまちづくり」を通して、「まちなか観光」を定着させます。世田谷らしい産業振興に取り組みます。

### 実質「借金ゼロ」を土台に 「参加と協働のまち」をつくります!

- 実績** 事業手法の見直しなどで区財政の事実上「借金ゼロ」を22年ぶりに実現。
- 区民に身近な行政へ。全27地区の出張所・まちづくりセンターの機能を強化し、「参加と協働」の地区行政の拠点にします。
- 本庁から5つの総合支所に身近に必要な予算・権限を移します。玉川総合支所を改築し、世田谷総合支所の三軒茶屋移転に着手します。

